

- 本検証委員会に対し、10月中を目途に中間報告が求められている。このため、中間報告に向けて、3つの検証事項について、それぞれ以下のとおり進めることとしてはどうか。

① 北海道全域に及ぶ大規模停電の発生原因の分析（9月6日午前3時7分の地震発生後、午前3時25分の大規模停電発生まで）

今回（第1回）で一定の検証が完了したことはどうか。なお、一部残された点については、時間を要する再現シミュレーションを除き、次回も検証し、中間報告につなげることとしてはどうか。

② 大規模停電後、一定の供給力（約300万kW）確保に至るプロセス（9月6日及び7日）における技術的な検証（ブラックスタート電源の立ち上げ等）

一定の検証を完了するべく、次回検証することとしてはどうか。

③ 北海道エリア等において講じられるべき再発防止策の検討

上記①②の検証を踏まえ、可能な限り速やかに検討することとしてはどうか。

- 中間報告後については、中間報告の内容次第ではあるが、少なくとも再現シミュレーションについては、引き続き検証作業を進めることとしてはどうか。

# (参考) 本検証委員会の設置の背景等について

総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会  
第11回電力・ガス基本政策小委員会  
(2018年9月18日) 資料3-2 P.5 抜粋

## 北海道胆振東部地震の検証等について

- 経済産業大臣の指示を踏まえ、平成30年北海道胆振東部地震に伴う大規模停電を検証するため、広域機関（第三者専門家で構成される委員会）において、原因究明等のための検証、及びそれを踏まえた再発防止策（停電規模抑制策含む）の検討※を行う。

※再発防止策の検討も踏まえつつ、電力供給の一層の強靱化を図るため、全国の電力インフラの総点検を行う。

### ○検証内容

1. 北海道全域に及ぶ大規模停電の発生原因の分析  
(9月6日午前3時7分の地震発生後、午前3時25分の大規模停電発生まで)
2. 大規模停電後、一定の供給力（約300万kW）確保に至るプロセス（9月6日及び7日）における技術的な検証（ブラックスタート電源の立ち上げ等）
3. 上記の検証に基づき、北海道エリア等において講じられるべき再発防止策（停電規模抑制策含む）等

### ○委員会の構成・運営方法

- ・ 電力技術の専門家から構成。
- ・ 委員会・配付資料は原則公開。（ネット中継も実施）
- ・ 北海道電力に対しては、データの提出等を求める。（北海道電力は委員には入らない）

### ○スケジュール

今週中（9月17日の週）に設置し、10月中を目途に中間報告。

(平成30年9月11日 北海道知事との共同記者会見における世耕経済産業大臣発言)

エネルギー供給体制の脆弱さが一因となって、今回の震災によって、道内が全て停電するという大規模停電が起き、多くの皆さんに大きな御迷惑をかけた。このことについては、エネルギー政策に責任を持つ経産大臣として、道民の皆さんに心からお詫びを申し上げたいと思いますし、今後に向けて大きな課題だというふうに考えております。こうした事態が二度と起こらないよう、原因の分析を透明感を持って行った上で、国と道が協力してエネルギー供給の強靱化に取り組んでまいりたいと思います。